



文 研
911.19
Sk96



予に送られしりしりあつて
僕月居とありしりあつて
とてまきりしりあつて
あつてほつてぬ南のあつて
せつとてまきりしりあつて
あれはそつとてまきりしりあつて
この道はあつてほつてまきりしりあつて
あつてはつて故あつて

二
溪月菴

曾瑞

竹の針乃あつてりしりあつて
つてはつてを合つてりしりあつて

永くあつて

可くあつて

終りあつて

霄甫

あつての針の

あつてのあつて

あつてのあつて

あつてのあつて

首級宮



先練より

人いり

故島乃

よみ

しん

い

た

い

文

い

増

宗

西條り送るる

い

一

ちいさな

涙を流るるよりぬりては、顔に
利すの角を、上類を、さして、
さして、地き、さして、
さして、
さして、

板雲亭 雪窟

まゝおち

人こよひはら

今若くは、ち、
いさぬ、
いさぬ、

侍た

雨眠

いさぬ、
いさぬ、

る

砂五

いさぬ、
いさぬ、

社

可候

いさぬ、
いさぬ、

遠山光

願柳

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

里

泉

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

海

野

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

胡

城

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

夕

書

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

楚

如

あはれなる心は
あはれなる心は
あはれなる心は

折花

若水

あはれなるはなを折らば
あはれなるはなを折らば

日歌

昔花

あはれなるはなを折らば
あはれなるはなを折らば

夜中

千條

あはれなるはなを折らば
あはれなるはなを折らば

夜中

紫條

あはれなるはなを折らば
あはれなるはなを折らば

雨声

酒香

あはれなるはなを折らば
あはれなるはなを折らば

同前

昔花

あはれなるはなを折らば
あはれなるはなを折らば

農家

九月

梅田のつれづれのこころ百ち中より乃
りてはつきりたを流りて

商家

十月

人形師のたはれぬ出ようりて
てそつて梅つてはつてありて

高島

梅里

信らりのつれづれのつれづれ
たのつれづれつれづれ風

的場

千麻

つれづれつれづれのつれづれ
まのつれづれつれづれつれづれ

夏

青二

つれづれつれづれのつれづれ
たのつれづれつれづれつれづれ

文章

二號

つれづれつれづれのつれづれ
たまのつれづれつれづれつれづれ

学校を

開考

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

歌也

骨牛

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

書回

眠樹

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

六言丸

眠哉

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

寄花鏡

眠考

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~



三  
坤丹堂

膏南

修の楽時をえうかり初  
たのれく何うそんてあ



